



2021年12月 日

桜井谷小学校

5年図工通信 第6号

発行者：

木版画 ～私の一文字～



今回、取り組んだ作品は木版画。テーマは漢字。好きな漢字、自分の名前に入っている漢字の一字などを選び、国語辞典や漢字辞典でその漢字の成り立ちや読み、意味を調べて、字に合うイラストやデザインを下描きしていきます。その下描きの出来栄がなかなか素晴らしく、版画にする前の段階でも作品になる程でした。下描きもかなりの出来栄だったのですが、それ以上に彫刻刀の扱いが上手で感心しました。「持ち方」「角度」「速さ」のコツを掴むと、鉛筆の線をなぞるようにすいすいと彫っていく姿が多く見られました。素敵な作品をつくってほしい願いがありますが、それ以上に「安全」に気をつけて作業を進めていくことが1番の目標でした。最初の内は、恐る恐る慎重に彫っていた子も慣れてくると気が緩みケガをしてしまった子も数名いましたが、どのクラスでも大きなケガをすることなく学習を終えることができ一安心です。漢字の版画なので、「田」や「月」のように隙間のある文字や横画と縦画が交差するところがある文字を選んだ子は、どこを彫ってどこを彫らないのかをよく考えて彫り進めないと文字のパーツが欠けてしまいます。また、周りに描いた絵が細かい人は彫刻刀を小刻みに動かさないと絵がつぶれてしまいます。地道な作業に心が折れそうになっている子もいましたが、無事彫る作業は終了！いよいよ刷る工程に入ります。赤系

と青系の2種類から好きな色を選びローラーを転がします。バレンでしっかり擦った後には、刷り上がった美しいグラデーションをした作品とのご対面。漢字を浮かび上がらせるために彫った、周りの模様にもいい感じにインクがついていて、それぞれ唯一無二の作品が完成しました。最初に刷る子に一連の流れを伝授した後は、子どもたち同士で伝言ゲームのように方法を教えていきます。奉書紙を木の板とズレないようにセットする係、ローラーの動かし方を教える係、バレンの動かし方を教える係、紙をめくる時のペアなど……刷り終わった人がまだの人のために活躍してくれました。子どもたち同士で教え合いながら楽しく協力して作品作りをする姿が見られてとっても嬉しかったです。子どもたちにも伝えたことですが、版画はハンコと同じように版さえあれば繰り返し好きな色で刷ることができる素敵な作品です。（なかなか、家で版画をすることはないと思いますが…）写した後の作品もですが、版の方もぜひ見てあげてほしいです。

2学期最後の作品は、クリスマスまでのカウントダウンをするためのアドベントカレンダーです。信仰している宗教の違いで、国や家によってクリスマスの過ごし方は様々であることを話すと驚いていました。12月1日から24マスあるカレンダーを作るには時間が足りないので1週間前からカウントダウンできるミニアドベントカレンダーですが、楽しんで取り組む姿が見られて嬉しかったです。図工の時間にアドベントカレンダーを初めて知って、お家で本物のアドベントカレンダーが欲しいとおねだりしたと報告してくれた子もいました。素敵な冬休みとなりますように！
